

柘植地域

まちづくりだより 第187号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一七(平成)二十九年四月十五日(土)
電話 四五―八八八〇 FAX 四五―八八八三
〒五一九一四〇二二

柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー
草むしる
反戦の歌
繰り返し
澤井とき子

せくらの花見に、

黒豆(つげまる)あんこの

「あんまきちゃん」!

特産品創出事業実行委員会



お買い上げ
ありがとうございます
ございます

つげまるあんまきちゃん
150円



せくら3分咲きの

霊山寺境内にて好評販売:

4月9日(日)、霊山寺周辺で行われた第29回せくらまつりに、特産の「黒豆」を使ったあんまきを販売しました。当日は雨上がりでしたが、西柘植地域のみなさんのご理解もいただきながら、予定数50セットは午前中に完売となりました。



材料のあんこは事前に仕込みを行い、当日の早朝からは女性部会メンバーがあんまきのかわを焼き上げ仕上げました。

平成28年度伊賀地域活動支援事業補助金を受け、事業展開を試みてきました結果、売り上げ金額だけを言えれば、年間20万円強ありました。もちろん、経費などを考えるとビジネスとしては成り立っていません。しかし、栽培管理、収穫・調製、加工などのノ



ウハウや、販売方法や労賃計算などについては試行ができたのがなにより成果です。特に、ネット環境を使った情報発信については有効活用の方性が見いだせてきました。

今後ともコミュニティビジネスの研究を深め、地域活性化の一翼を担いたいと考えております。地域の皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

上村区フースでは
恒例のバナナを販売!

霊山保勝会の一員として、上村区も毎年出店しています。



2017(平成29)年度 ご入学おめでとうございます



新一年生17名、
保護者や先生方といっしょにパチリ!

このあいだまで小学生だったけど、制服を着ると引き締まっていますね。新入生24名。



4月5日(水)午前には、統合2年目になった柘植保育園で入園式がありました。保護者もいっしょにみんなで、はいチーズ!



4月6日(木)、柘植小学校、柘植中学校で入学式が行われました。
午前9時30分から柘植小学校にて小学一年生17名(男子9名女子8名)が、午後2時から柘植中学校にて中学一年生24名(男子18名、女子6名)が在校生や先生方、保護者・地域代表の方々が見守るなか、気持ちあらたに入学されました。人口減少の中ですが、子どもたちが「柘植地域の学校で勉強してよかった」と思えるような地域でありたいものです。

柘植地域で育つ

子どもたちのために…

保育園・小中学校と

協力して取り組んでいます

教育ボランティア

3月28日(火)、柘植小学校中庭と都美恵神社東の学校畑にサル被害防止用ネットを設置しました。(左写真)



また、1月11日(水)には、恒例の保育園園児との交流会(お正月遊び)に参加しました。(写真)

ひろばで大型紙芝居をボランティア6人で実施しました。その後、年少(ほし組)はけんだま遊び、年中(にし組)はすごろく、



年長(そら組)はかるた、トランプなどをしました。その後、お昼ご飯をいただきました。

○○○教育ボランティア募集○○○

柘植地域で育つ子どもたちの成長のお手伝いをしませんか?

あなたのできることで大丈夫です。

いつでも登録(解除も)できますので、事務局までお問い合わせください。

☆☆☆事務局だより☆☆☆

▼今年は寒さの影響でサクラの開花が遅れていました。早く咲くことを期待しがちですが、遅く咲くのもいいものです。▼私たちもサクラのように、地域の将来を考えて、「花咲く」

日のために、しっかりと準備をしていくことが、区やまちづくり協議会として大切なことだと思えます。「備えあれば憂いなし」。定期総会は、5月27日(土)夜に実施します。▼以前、郵便局の「消印」問題について、話題を掲載しましたが、それ以後、何人かの住民の方から、風景印のお話しをいただきました。調べましたところ、左枠のような風景印がいまも郵便局のサービスとして実施されています。柘植郵便局の窓口でその旨伝えようと消印として押してもらえますので、地域おこしの意味も込めて使ってみてはいかがでしょうか?▼風景印の制定時にはいろいろと議論もされたことでしょうか。詳しい歴史や内容をご存じの方がいらっしゃいましたら、事務局まで連絡ください。(西田方計)

知っていますか?

柘植郵便局の風景印

遠方に「河原谷キャンプ場」、中央右に「芭蕉翁木像」、手前に「やまつつじ」が配置されている。



昭和38年1月11日から使用
図案者 大塚均

シリーズ 柘植の歴史と民俗を学ぶ⑦

「柘植のホント!かるた」より

いどのこ ふくち じょうし ばしょう くひ
井戸残る 福地城址に 芭蕉句碑



戦国時代の末期、伊賀を支配下に置こうとする織田信長の軍勢が攻め込んできます。(天正伊賀の乱)

このころ伊賀には国主が存在しない状況で、有力な土豪たちが連合し大きな問題は合議制で対処していました(「伊賀惣国」という)。

戦いの第一次は土豪たちの勝利でしたが、第二次では織田方の圧倒的な兵力と分断作戦により伊賀は焦土と化し、多くの老若男女が殺害されました。

このとき、柘植地域の土豪であった福地伊予守宗隆は信長に地理案内を申し出て味方したため手厚い処遇を受けましたが、わずか9ヵ月後、京都の「本能寺の変」で信長が倒れたため伊賀の土豪たちの逆襲で福地城は焼き討ちに遭います。

裏切り者となった福地一族は散り散りになりますが、家老であった福地宗時の一族は山出区拝野の松尾家の株に入り名前を変えてこの地に留まります。芭蕉の祖祖父・右エ門の時代といわれています。

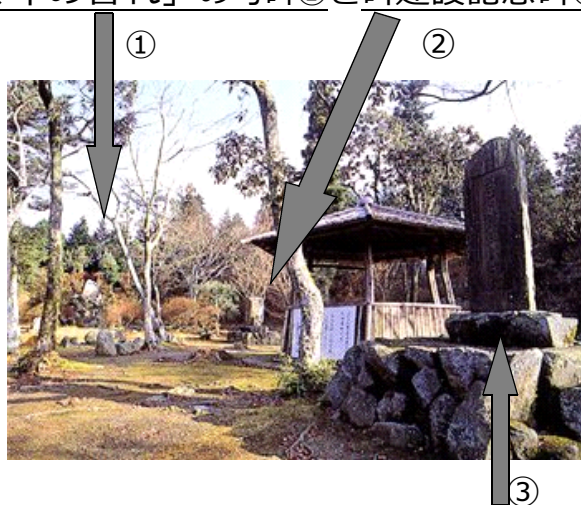
この福地城の本丸跡に造られたのが芭蕉公園です。

福地城跡は伊賀に残る中世城館の中で最も良い状態で保存されている城跡で、県の史跡に指定されています。表門の石垣、掻き上げの四方の土塁、東北隅の石蔵跡、井戸などほぼ完全な形で残っており、堀の外には城主館他数か所の館跡も確認されています。

明治26年、芭蕉200回忌にあたり持ち主の松尾宇八郎氏よりその土地1反8畝13歩が上柘植村へ寄贈され、「古里や臍の緒に泣く年の暮れ」の句碑①と碑建設記念碑②が建てられました。

その後、明治43年に東柘植村の支援や郷土の篤志家により一時荒廃していた城址を整備して「芭蕉公園」と名付けられました。

このとき「芭蕉翁生誕の地」の碑③が建てられましたが、その裏面には「芭蕉は上柘植松尾儀左工門の次男として生まれ平宗清の末裔柘植七党に属す名門である。生誕325年を迎え中頃の祖福地氏ゆかりの城址に建立しその高風を忍ぶよすがとした」とあります。



平宗清の五代目宗俊の子3人が、日置太郎・福地二郎・北村三郎に分かれ、福地の祖・二郎宗家から数えて福地宗隆は15代目となります。(田中重之)